

管制業務処理規程改正案に係る意見・質問等(令和5年1月26日適用分)

RVRの上限値の2,000m化

項番	官署	改正案項番	質問・意見等	回答
1	中部事	Ⅲ(Ⅰ)3(4)b	気象通報式ではU/D、RVR表示器ではUP/DOWNの表示に基づき、UPWARD/DOWNWARDと情報提供している例があるが、用語又は用語例への記載の必要はないか。	管制方式基準においては、航空機に対して通報するRVR値にRVRの変動傾向(UPWARD/DOWNWARD)を含めることは必須としていません。なお、第4運航情報業務処理規程においてもRVRの変動傾向(UPWARD/DOWNWARD)をATISに含むことはされていません。METAR等を気象通報式に基づき提供する場合においては変動傾向を報じることになります。
2	JAL		JALとしては特段問題なく、規定の改定の予定はございません。	かしこまりました。
3	SKY	Ⅲ(Ⅰ)3(4)b.(a)	RVRの観測及び通報の上限値が1,800メートルから2,000メートルに変更になるとのことですが、これは全世界的にも同様の動きなのでしょうか。海外の状況につきまして、把握されている範囲でご教示ください。	RVRの観測及び通報の上限値が2,000メートルであることはICAO Annex3により規定されています。今般、気象庁によりRVR観測装置及び気象観測システムがICAO Annex3に準拠したものに更新されるため、管制方式基準の改正を行うものです。
4	SKY	Ⅲ(Ⅰ)3(4)b.(a)	自衛隊管理空港においては本改正は関係なく、引き続き上限値1800mでの通報ということでしょうか。	自衛隊管理空港においては、引き続き上限値1,800mでの通報となります。なお、上限値2,000mの空港と上限値1,800mの空港についてはAIP AD1.1 6.7に公示されています。
5	SKY	Ⅲ(Ⅰ)3(4)b.(a)	今後、自衛隊管理空港でのRVR上限値変更の予定はあるのでしょうか。もしご存知でしたらご教示ください。	防衛省管理飛行場において上限値を2,000mにする計画は今のところありません。ただし、今後システムの更新等の際にRVR2,000m化に対応する可能性はございます。
6	SKY	AIP AD 1.1 6.7	AIP AD1.1 6.7 滑走路視距離の適用の改正は行われるのでしょうか。	行われます。
7	JAPA		RVRの観測及び通報の運用変更に伴う改正とあるが、観測及び通報を変更する理由について、教えてほしい。	項番3を参照願います。
8	JAPA		RVRの通報が1800mから2000mに変更されても特に運用上の問題はないと考えるが、エアラインオペレーター、使用事業、プライベートパイロット等からの意見を踏まえ、導入に向けて混乱が生じないよう、関係各位への十分な周知期間、理由説明が必要と考える。	管制方式基準の改正にあたり、適用日及び改正案の提示並びに意見照会を行いました。AIPの改正についても周知期間を設けたうえで改正を行います。